

(第7時の実践・学習プリント)

「故郷」個人テーマの観点づくりについて

3年 組 番 ()

義務教育を終え、これから直接社会に触れていく年齢になるみんなにとって、社会という状況の中での、人と人の関わりについて考えをもつことは、これからの自分に関係する問題であると言える。そのことを理解した上で、社会の中で生きる人間について具体的に書かれている「故郷」を通して、状況を捉え、人の生きる姿や社会について考えを広げ深めることができるよう **社会のあ**

り方や人間の生き方について意見をもつ活動を行う。

【次のステップで行う】

(1)登場人物(3人)について、感想を交流する。

例・ヤンおばさんについてどう思うか？

- ・感想の中に、その人物の生き方に対する評価が入ってもよい。
- ・登場人物を離れて、社会の状況の中の人間の生き方について述べるのもよい。

(2)意見文を書くために観点を選ぶ。

- ・ヤンおばさん、ルントウ、私、その他の中から、書くための中心人物を決める。(複数でも可)

- ・登場人物を限定しなくても可（社会状況と人間等）

(3)意見文の具体的な内容（イメージ・見通しをもつ）

- ・「ルントウ」の「旦那様！……」という呼び方は、どのような状況から生まれたか？そのことに対する自分の意見。

- ・「ヤンおばさん」の生き方についてどう思うか。

- ・「私」のこれからの生き方（予想・期待）

(4)意見文を書くためのタイトルを自分の言葉で決める。

(5)次の時間の予告